

ノイゼー

蘇歩青さん。私は、一交あなたにお目にかかったことの
ある小倉金之助です。いまから26~~年~~^も年前のこと^{でした。}あなたが仙台の東北大学で、
熱心に数学~~を~~研究~~を~~しておられました^{こと}~~こと~~、
あなたは微分幾何学 differential geometry の論文を、
そのころ大阪にいた私のところに、二、三度送って下さいました。
それで1929年の秋●に、私が仙台に居りましたとき、東北大学の
林鶴一先生の研究室で、あなたにお目にか

か ~~かり~~^{かり, 何か} ちよつとは話を申上げたことかあり
 りました。そのとき、あなたを私に紹介され
 たのは、いまでも健在で ~~●~~ おられる 高須鶴三郎
 さんであつたと、おぼえております。

その後、あなたはお国にお帰りになり、有力
 な数学者として、中国のために ~~りっはな~~^{すぎれた} 仕事
 り、~~りっはな~~^な 仕事を ~~な~~ しました。そのころは、
 は、何かの折りに、私のところへ ~~りっはな~~^{しばしば} 傳わ
 った事たのびした。そしてこのため、あなた
 は中国科学院を代表する一人として、学術視

祭のため、日本にお出でになったのです。折
 悪しく、私はこの春から病気静養中のため、
 せつかくお出でになったあなたに、お目にかか
 ることが出来^{ません。}~~ないのは、~~ ~~まさか~~ ^{のあまり、}遺憾~~を感ずる~~
^{22に} ~~いま、そこに~~メッセージをお送りする次第であります。
~~いま、そこに~~ ~~あなたを~~ ~~取りまいて~~ ~~いる~~ ~~数学者~~ ~~たちは、~~ たが一つの研究機関
 や研究団体に属している^{人たち} ~~わけ~~ ^はなく、また
 必ずしも^{同じ}思想^{をもち}政治上の意見が、全く~~同じ~~
 一致する人たちと^の思われませんが、しかし
 数学と数学教育の進歩発展を熱望する^点では、
^{（いい）}

いま、そこに、
あなたを
取りまいて
いる

何人
 なんひともし劣らない、良心的な人々^{なの}です。~~です~~
 是非~~是非~~を知~~を~~願います。

蘇歩青さん、これまで随分なかい間、アジア
 的停滞^まなびと呼ばれて^まいたお国が、中華人
 民共和国の成立以来、^ま躍ましい建設と、革命
 的な進歩発展に、驚嘆しないうちはありません。
 私たちの日本^は~~は~~中国から学ぶなればなにな
 いか、~~是非~~たくさんあるはが~~は~~^{です}残念なこ
 とに~~は~~、中国の科学研究や科学教育の状況が、
 私たち^はくわしくわかっていないうです。~~残念な~~

今 ~~日~~^の 日本^の 科学界~~は~~ は、アメリカ^や イギリス、
 フランス^{など} のことなら、ある程度わかっ^てて、
 中国^{は殆ど} のこと ~~は~~ 知らな^い ~~い~~ ^{といふ} のです。私^{たち} は何と
 りもまず、あなたから出来るだけ^に 具体的に、
 中国科学の^お 実情~~を~~^を ~~お~~^き したいのです。

また、先^に 函^知 のよう^に、この大^び の戦^争 の前
 の日本の科学界は、甚^だ しい軍事的国家主義
 の下^に、恐^ろ しい^く 封建^的 なもの^の でした。この
 大^び の敗^戦 の結果、表面上は一應民主主義^的
 になったよう^に 見えながら、^実 際^は ^い ま ^は

(法に)

なく、いろいろの権力と結びついて、ほんとの
 の科学の発達^と ~~は~~ ほんとの科学教育の進歩を
 さまたげ^{でい} ~~る~~ ~~の~~ ~~か~~ ~~い~~ ~~あ~~ ~~る~~ のです。これでおから、今日に
 若い人^{心ある} ~~の~~ ~~尚~~ ~~か~~ ~~ら~~、思想や政治^的 意見の~~ち~~
 がいを乗り越え^{まに}、障害物を切りひら^{きなから} ~~き~~、新
 しい科学と科学教育への道を^{熱心} 探し求め^る ~~る~~ ~~声~~
 が上げられている。そういう人たち、ここ
 に集まっているのです。蘇歩青さん。どうも
 そういう聲をお聞きください。これは表面的
 な外交辞令で^は ~~ありません~~、また決してある

なっは、
まじめな

中央
公論
社原
稿用
紙

特定の政治的意見でもありません。 ところが日
本の科学と科学教育の^る将来を荷なう人たちの、

眞実の聲として、 お聞きください
^{数学の研究と数学の教育を中心として、}

それで今日は、私たちの方からあなた、

日本の実情を卒直にお話し^{申し}た上、遠慮のない

質問^をいたしまさから、あなたからは、

中国の実情を^{卒直に}お話し^たさいました上、あなた

がごらんになった日本の~~実情~~科学・数学

たいする遠慮のない~~の~~批判を~~の~~お聞きせ下

いますよろ^お願^い上げます。 としてこの^いつた^い會

い申

~~種類~~
性質の

合を基礎にして、^まこれから中国と日本の間、
 緊密な数学の交流をはかるべきではありませんか。
 考えて見ますと、日本は中国から数学を三
 次輸入して、学んだのでした。第一回目は今
 から1200年か1300年か前のことで、これが日本
 の数学の根本を作りあげたのです。第二回目は
 17世紀のはじめごろの輸入で、専門的な
 日本の数学のいわゆる和算^{といふ}は、その基礎の上に
 成り立^たったのです。これから第三回目は、中国の言葉~~で~~
 書かれたヨーロッパ数学の輸入で、これはおおよそ18世紀
 の半ばごろから明治維新にまで及んだのでした。現に我々の
 日本人が、今日用いている数学の言葉——算術、代数、幾何、

中央公論社原稿用紙

三角比, 微分積分 ~~と云う~~ ²³⁰³ 言葉は、皆あなた

の^お国から、~~直接~~ このままの輸入した言葉なので^{ありま}す。

私たちの日本の数学者は、あなたの国から受け^{まし}た^{かよ}恩

恵^決を^決心^決ゆるものではありません。ゆえゆえはお互^{カを合}い^せ ~~合~~

~~手~~ ~~を~~ ~~つ~~ ~~な~~ ~~さ~~ ~~し~~ ~~て~~、ほんとうの科学の^進歩^発達^のため、

世界の平和のため、備え^はありませんか。

~~と云う~~ ~~こと~~ ~~は~~ ~~皆~~ ~~然り^に臨んで、あなたの健康を~~

お祈り申し上げます。

1955年 12月 20日

● 小倉金之助

~~手~~
を^つな^さし^て
あ^らす

中央
論社
原稿
用紙